

クコシ（枸杞子）



語源

枸杞とは、「カラタチ（枸橘）のようなトゲがあり、コリヤナギ（杞）のように枝がしなやか」であったために名づけられたとされる（『本草綱目』）。漢字の枸は「枝が曲がること」を表し、カラタチは枝がよじれてトゲが多い。

一方、学名の「Lycium」（下記「基原」の項参照）は、中央アジアのLycia地方に生えていたトゲの多い灌木をさし、古代ギリシャ語であるlycionを転用したとされる。

基原

ナス科 落葉低木
ナガバクコ *Lycium barbarum*

薬用部分

果実

産地

寧夏、青海、内蒙古、新疆、遼寧、山西、陝西、甘肅、西藏など

主な薬効

免疫増強作用、血糖値降下作用、脂質代謝改善作用、肝機能保護作用などが報告されている。

主な成分

ベタイン、ケイヒ酸、シトステロール
カロチノイド：カロチン、ゼアキサンチン、フィサリエン
ビタミン類：チアミン、ビタミンB、C
脂肪酸：リノール酸 など

代表的処方

【杞菊地黄丸】

コギクジオウガン
中心性網膜炎、視神経萎縮、球後視神経炎などの眼疾患、高血圧症、自律神経失調症などで、肝腎陰虚、肝火旺の症に用いる。
（処方内容） 枸杞子／菊花／牡丹皮／茯苓／沢瀉／山薬／山茱萸／熟地黄

【一貫煎】

イッカンセン
肝疾患に用いられる。
（処方内容） 沙参／麦門冬／当帰／枸杞子／地黄／川楝子

文献報告

【神経細胞保護作用】

Neuroprotective effects of polysaccharides from wolfberry, the fruits of *Lycium barbarum*, against homocysteine-induced toxicity in rat cortical neurons.

J Alzheimers Dis. 2010,19,813-27

【血糖・血中脂質降下作用】

Hypoglycemic and hypolipidemic effects and antioxidant activity of fruit extracts from *Lycium barbarum*.

Life Sci. 2004,76,137-49

【免疫賦活作用】

Activation of macrophages by polysaccharide-protein complex from *Lycium barbarum* L.

Phytother Res. 2009,23,1116-22

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「日本薬草全書」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
URL：www.fukudaryu.co.jp